

# 授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ダンス・エンターティナー科					
クラス			R	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名			芝居表現トレーニング					講師名	田中照人	
担当講師の実務経験			○			実務経歴	劇団ひまわり俳優養成所にて演技・ダンス・身体アクション・MCその他俳優に必要な様々なスキルを習得後、同劇団劇団員に昇格。退団後は自身で表現集団を立ち上げ、演劇活動と表現講師活動の二刀流を続ける。俳優歴30年以上、表現講師歴27年。			
授業のねらい・学期の達成目標							授業概要と進め方			
エンターティナーになるために必要不可欠な表現力を身につける。まずは自分の身体と声で表現することを楽しむ。また、人前で作品を発表することにより、表現すること、ひとを楽しませることに喜びを感じる  目標は「楽しむ」から「楽しませる」に心を変えること							シアタートレーニングや演劇作品づくりを中心に進める。期末にはショートストーリーの演劇作品を上演する ダンス授業同様、必ず動きやすい服装で参加すること			
実施回数	学習内容						各回の到達目標		確認テスト	
								形式	点数	
1	授業内容理解・自己PR						表現力が必要な理由を理解する			
2	シアタートレーニング①課題①セリフ覚え						簡単なトレーニングに挑戦し、表現することを楽しむ。覚えることの大切さを学ぶ	課題	5	
3	シアタートレーニング②課題①動き覚え						コミュニケーションを積極的にとり、仲間のとの協同作業を楽しむ。	課題	5	
4	シアタートレーニング③課題①全員で表現する						伝えることを意識して表現する	課題	5	
5	シアタートレーニング④課題①の発表						表現を楽しむ	課題	5	
6	学期発表に向けての練習①						自分の役割にしっかりと責任を持ち、発表会に向けて演劇の作品づくりを進める	課題	5	
7	中間試験						□中間試験は、授業ないとは別の短いセリフを事前配布にて試験	実技	20	
8	学期発表に向けての練習②						セリフと動きをすべて覚え、これまでの成果を発表する	課題	5	
9	学期末発表に向けての練習③						よりよくするにはどうすれば良いかを考え自らそれを実践する	課題	10	
10	学期末発表に向けての練習④						作品を完成させる	課題	10	
11	最終リハーサル						本番通りのリハーサルを行う	課題	0	
12	最終リハーサル						本番は7/11（木）キャリアデザインで成果発表会	実技	10	
13	期末試験						□ひらかたパーク公演練習		20	
追試詳細							達成度評価		使用教材	
追試日時、内容は追試申請提出後に決定  10点以下の課題は母数減らしとする 20点の実技は、動画提出とする							A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ダンス・エンターテイナー科					
クラス			R	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名			バレエ基礎Ⅰ					講師名	塚本友理	
担当講師の実務経験			○			実務経歴	ユニバーサルスタジオジャパンにてエンターテイナーとして3年活動の後、ダンススタジオなどでインストラクターや外部講師として活動。現在は自身のスタジオにてバレエレッスンを行い、近年では器械体操などの選手の指導も行う。			
授業のねらい・学期の達成目標							授業概要と進め方			
ダンスの基礎となるクラシックバレエの動きに取り組み、様々なダンス・ステージに活用していけるように鍛錬する。							オーディションに必要な柔軟性や技術、表現力の必要性を十分に理解する			
実施回数	学習内容						各回の到達目標		確認テスト	
									形式	点数
1	バーレッスン						しっかり体を動かす			
2	バーレッスン						バレエに慣れる・深める		実技	10
3	バーレッスン						レッスンの流れをつかむ			
4	バーレッスン・センタートレーニング						動きの幅を広げる		実技	10
5	バーレッスン。センタートレーニング						動きの幅を広げる			
6	バーレッスン・センタートレーニング						動きの幅を広げる・テストに向けて		実技	10
7	中間試験								実技	30
8	バーレッスン・センタートレーニング						動きの幅を広げる		実技	10
9	バーレッスン・センタートレーニング						動きの幅を広げる			
10	バーレッスン・センタートレーニング						動きの幅を広げる		実技	10
11	バーレッスン・センタートレーニング						動きの幅を広げる		実技	10
12	バーレッスン・センタートレーニング						まとめ			
13	期末試験								実技	10
追試詳細							達成度評価		使用教材	
中間テストの追試は翌週とする。以外は母数減らし							A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		バレエレッスン用音楽	

# 授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ダンス・エンターティナー科					
クラス			R	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名			キャラクタートレーニング					講師名	江端素子(バター)	
担当講師の実務経験		○			実務経歴	テーマパークにてエンターティナーとして16年勤務				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
●体を使った表現の楽しさ、難しさを知る。 ●キャラクターの存在、役割、責任。キャラクターの職業について学ぶ。 ●職業としてテーマパークで働く上での責任。大切な表現力、発想力を学ぶ。						●体を使った表現、コスチュームを着用しての表現を経験してもらい、その楽しさ、難しさを自分自身で体感してもらう。 ●キャラクターと仕事をする上で大切な事、ルール、コスチュームの取り扱いについて伝える。 ●即興での発想力、想像力のトレーニングを行い、テーマパーク、キャラクターの仕事に関わる上で大切な楽しむ心、自由な発想について考える機会を作る。				
実施回数	学習内容					各回の到達目標			確認テスト	
									形式	点数
1	自己紹介／授業内容説明					自己表現をする、自分の印象を知る／授業内容、目的を理解する。				
2	テーマパーク、キャラクターとは					テーマパークにおけるキャラクターの存在について考える。				
3	キャラクター表現①(コスチューム)					コスチュームを着用する。コスチュームの取り扱いについて学ぶ。				
4	キャラクター表現②(コスチューム)					コスチュームを着用し動く。表現する。			実技	15
5	キャラクター表現③					振付を覚える。				10
6	キャラクター表現④					振付確認。体を使った表現をする。				10
7	中間試験					振付発表。			実技	30
8	キャラクター表現⑤(コスチューム)					振付をコスチュームで踊る。				
9	キャラクター表現⑥(コスチューム)					振付をコスチュームで踊る。			実技	20
10	キャラクター表現⑦ ノンバーバル表現					言葉を使わないコミュニケーションを体験する。				5
11	キャラクター表現⑧ 発想力、想像力トレーニング					自身で考え表現を行う。				
12	まとめ					キャラクタートレーニングのまとめ				
13	期末試験									10
追試詳細						達成度評価			使用教材	
追試について：④・⑤・⑥・⑩・⑬週目の試験については申請のあった場合、母数減らしにて対応をする。⑦・⑨週目の試験については申請のあった場合、試験日の翌週に授業内で行う。※追試内容については変更をする可能性あり。						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			●動きやすい服装、室内シューズ ●コスチューム使用の際は長そで、長ズボン、バンダナ、軍手、綿手（汗をかくので、特にコスチュームを使用する際は必要であれば着替え、タオル、水分など）	

# 授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ダンス・エンターティナー科					
クラス			R	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名			JAZZ I					講師名	TAKESHI	
担当講師の実務経験			○			実務経歴	スペイン村ダンサー・レオマワールドダンサー・ディズニーダンサー・CM出演・アイドル振付			
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
Jazzダンスに必要なバレエ基礎や、体幹・全身の筋力アップを体得する。自身のコミュニケーション力を高め、自分をアピールする方法を学ぶ。次年度のオーディションに向け技術の向上と共に、精神面も鍛え自分をコントロールするスキルを身に付ける。						身体ウォーミングアップ、ストレッチ後に筋力トレーニング。バレエ基礎、ターンコンビネーションやクロスフロア。Jazzベースのコンビネーション。踊り込み、表現を高める。				
実施回数	学習内容					各回の到達目標			確認テスト	
									形式	点数
1	自己紹介・ダンス基礎・コンビネーション1					Jazzクラスの内容を把握する			実技	
2	Jazz基礎・テクニック・コンビネーション1					基礎のマスターとコンビネーションの習得			実技	
3	Jazz基礎・テクニック・コンビネーション1					基礎のマスターとコンビネーションの習得			実技	10
4	Jazz基礎・テクニック・コンビネーション2					基礎のマスターとコンビネーションの習得			実技	10
5	Jazz基礎・テクニック・コンビネーション2					基礎のマスターとコンビネーションの習得			実技	10
6	Jazz基礎・テクニック・コンビネーション2					基礎のマスターとコンビネーションの習得			実技	10
7	Jazz基礎・中間試験コンビネーション					中間試験に向けて振付をマスターする			実技	
8	中間試験					自身をフルアピール			実技	30
9	Jazz基礎・テクニック・コンビネーション3					基礎のマスターとコンビネーションの習得			実技	10
10	Jazz基礎・テクニック・コンビネーション3					基礎のマスターとコンビネーションの習得			実技	10
11	Jazz基礎・テクニック・コンビネーション3					基礎のマスターとコンビネーションの習得			実技	
12	前期のまとめ					前期の反省と後期の目標を立てる			実技	
13	期末試験								実技	10
追試詳細						達成度評価			使用教材	
中間テストの追試は翌週に実施：ダンス動画の提出 それ以外は母数減らしとする						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

2025年度前期

学部	昼	年次	2	学科	テーマパークスタッフ科					
クラス			S	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			芝居表現トレーニングⅢ					講師名	田中照人	
担当講師の実務経歴			○		実務経歴	劇団ひまわり俳優養成所にて演技・ダンス・身体アクション・MCその他俳優に必要な様々なスキルを習得後、同劇団劇団員に昇格。退団後は自身で表現集団を立ち上げ、演劇活動と表現講師活動の二刀流を続ける。俳優歴30年以上、表現講師歴28年。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
お芝居を通して表現力の幅を広げる オーディション合格に向けた、面接練習 オーディションを意識した空気作りを意識する						授業形式：講義および実技等 ・前半は2作品に挑戦 ・後半は、面接練習とオーディション対策に特化した授業運営				
実施回数	学習内容					各回の到達目標			確認テスト形式	点数
1	授業内容理解・自己紹介					□授業のねらい、到達目標を理解する□クラスメイトのことを知る				5
2	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー①練習①					□演劇メソッドを使用したトレーニングを通じ、自身の表現力や感性を磨く□表現力の幅を広げる				5
3	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー①練習②					□演劇メソッドを使用したトレーニングを通じ、自身の表現力や感性を磨く□表現力の幅を広げる				5
4	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー①練習③					□演劇メソッドを使用したトレーニングを通じ、自身の表現力や感性を磨く□表現力の幅を広げる				5
5	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー①練習④					□演劇メソッドを使用したトレーニングを通じ、自身の表現力や感性を磨く□表現力の幅を広げる				5
6	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー①発表					深く演じることを心掛ける				20
7	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー②練習①					□演劇メソッドを使用したトレーニングを通じ、自身の表現力や感性を磨く□表現力の幅を広げる				5
8	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー②練習②					□当日に配布するセリフでオーディション形式の試験				5
9	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー②練習③					□演劇メソッドを使用したトレーニングを通じ、自身の表現力や感性を磨く□オーディションを意識した空気づくりを				5
10	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー②練習④					□演劇メソッドを使用したトレーニングを通じ、自身の表現力や感性を磨く□オーディションを意識した空気づくりを				5
11	シアターゲーム・インプロヴィゼーション面接練習・ショートストーリー②発表					お客様を意識した発表を				20
12	万博公演練習					万博公演練習				5
13	万博公演練習					万博公演練習				5
14	万博公演練習					万博公演練習				5
15	万博公演練習					万博公演練習				
追試詳細						達成度評価			使用教材	
課題5点は、母数減らし										
実技発表は、レポート提出						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	年次	2	学科	ダンス・エンターテイナー科					
クラス			S	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			バレエ応用Ⅱ					講師名	エリカ	
担当講師の実務経験			○			実務経験	3歳よりバレエをはじめ、USJにてバレードダンサー・アクトレスにてショー出演。その後は京都水族館にてイルカショーのMCパフォーマーとして出演。現在はバレエダンサーとして公演に出演中。			
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
オーディションへ向けて基礎のレベルアップ、基礎を使ったコンビネーションのスキルアップを目指す。						オーディションで必要となるバレエの応用を中心に、表現力の向上や、基礎の磨き上げ、振り返り等を行う。				
実施回数	学習内容					各回の到達目標			確認テスト	
									形式	点数
1	レッスン・yaguraリハーサル					振り入れ、各ポジションの確認				
2	レッスン・yaguraリハーサル					振り入れ、各ポジションの確認			実技	5
3	レッスン・yaguraリハーサル					振り入れ、各ポジションの確認			実技	5
4	レッスン・yaguraリハーサル					振り入れ、各ポジションの確認			実技	5
5	レッスン・yaguraリハーサル					相手や空間、音楽を感じ表現し踊る			実技	10
6	レッスン・yaguraリハーサル					相手や空間、音楽を感じ表現し踊る			実技	10
7	中間試験								実技	30
8	レッスン・yaguraリハーサル					相手や空間、音楽を感じ表現し踊る				
9	レッスン・yaguraリハーサル					相手や空間、音楽を感じ表現し踊る			実技	10
10	バレエ応用レッスン					バレエの技術に表現力も取り込み踊る			実技	5
11	バレエ応用レッスン					バレエの技術に表現力も取り込み踊る			実技	5
12	バレエ応用レッスン					バレエの技術に表現力も取り込み踊る			実技	5
13	期末試験								実技	10
14	バレエ応用レッスン					バレエの技術に表現力も取り込み踊る				
15	バレエ応用レッスン					バレエの技術に表現力も取り込み踊る				
追試詳細						達成度評価			使用教材	
授業内テストは公欠者のみ追試を行い、それ以外は母数減らしとする						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			レオタード、タイツ、シューズ、タオル、水	

# 授業計画書

2025年度前期

学部	昼	年次	2	学科	ダンスエンターティナー科					
クラス			S	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			キャラクタートレーニング					講師名	あゆ	
担当講師の実務経験			○			実務経験	テーマパークで四年半、エンターティナーとして勤務。その他キャラクターショーなど出演経験あり。			
授業のねらい・学期の達成目標							授業概要と進め方			
数ヶ月後のオーディションに向けて、表現の幅を広げる。また、エンターティナーとして、長く健康に活躍できるように、自分の体作りと食事の関係について興味を持つ。							授業形式：講義および実技等			
実施回数	学習内容					各回の到達目標			確認テスト 形式 点数	
1	自己アピール					自己紹介 授業内容、目的の理解				
2	表現カトレーニングⅠ					身体を大きく使って表現し伝える				
3	体と栄養①					ダイエットについての正しい知識を身につける			講義	10
4	表現カトレーニングⅡ					想像して動ける			実技	10
5	表現カトレーニングⅢ					自分が表現したいことを相手に伝えられる			実技	10
6	スキルチェック					スキルチェック				10
7	体と栄養②					体調不良時の栄養摂取について知る			講義	10
8	オーディション対策Ⅰ					キャラクターをイメージして動ける			実技	10
9	オーディション対策Ⅱ					振り付けや課題を正確に覚え表現する			実技	10
10	スキルチェック					スキルチェック				10
11	体と栄養③					オーディション前のコンディション調整について知る			講義	10
12	オーディション対策Ⅲ					様々なオーディション内容に慣れる①				
13	オーディション対策Ⅳ					様々なオーディション内容に慣れる②				
14	オーディション対策Ⅴ					様々なオーディション内容に慣れる③			実技	10
15	まとめ					前期を振り返り今後の課題を見つける				
追試詳細						達成度評価			使用教材	
6/2のスキルチェックは、申請のあった場合、後日試験で対応します。その他の10点の日は、申請のあった場合、母数減らして対応します。						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			動きやすい服装 シューズ 水分 タブレット 筆記用具	